

授業科目 地域作業療法学実習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
能 村 友 紀、長谷川 利 夫		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 地域作業療法を実践していくために必要な評価法と支援技術を得得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 地域作業療法の役割について述べるができる。 2. 生活障害の捉えかた、生活の構造的側面について述べるができる。 3. 地域作業療法の評価について述べるができる。 4. 地域作業療法の指導・援助内容について説明できる。 5. 精神科領域の地域生活支援のあり方について述べるができる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域作業療法の基盤と背景（地域医療の台頭、地域作業療法の理念と方法）			1	講義（能村）
2	在宅生活を支える作業療法評価の視点			2	講義（能村）
3	地域作業療法におけるおける指導・援助法（1）			3.4	講義（能村）
4	地域作業療法におけるおける指導・援助法（2）			3.4	講義（能村）
5	福祉用具・住宅改修支援の評価・指導・援助法援助法（1）			3.4	講義（能村）
6	福祉用具・住宅改修支援の評価・指導・援助法援助法（2）			3.4	演習（能村）
7	福祉用具・住宅改修支援の評価・指導・援助法援助法（3）			3.4	演習（能村）
8	福祉用具・住宅改修支援の評価・指導・援助法援助法（4）			3.4	演習（能村）
9	福祉用具・住宅改修支援の評価・指導・援助法援助法（5）			3.4	演習（能村）
10	介護予防における評価・指導・援助法（1）			3.4	講義（能村）
11	介護予防における評価・指導・援助法（2）			3.4	演習（能村）
12	包括型地域生活支援プログラム（1）			5	講義（長谷川）
13	包括型地域生活支援プログラム（2）			5	講義（長谷川）
14	OT理論			5	講義（長谷川）
15	これからの精神科領域の地域生活支援			5	講義（長谷川）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		地域作業療法学	小川恵子編	医学書院	2005
参考書					
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席 授業態度 レポート 発表 期末試験		1. 地域ケア体系は激変期にある。情報をインターネット・新聞・TVから常に収集すること。 2. 保健・医療・福祉は在宅ケアへと大きくシフトしている。地域における作業療法指導・援助の実態を見学することを勧める。			